

製品安全データシート

作成: 2018年11月14日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH155-01
製品名 : エンペラーフロアブル
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : 生産資材本部 生産部 生産統括課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3827-0825
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

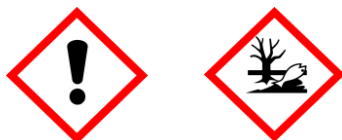
GHS分類

物理化学性危険性	自然発火性固体	: 区分外
	可燃性固体	: 区分外
	水反応可燃性化学品	: 区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分外
	急性毒性(経皮)	: 区分外
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分外
	皮膚感作性	: 区分1B
	生殖細胞変異原性	: 区分外
	発がん性	: 区分外
	生殖毒性	: 区分外
環境に対する有害性	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 分類できない
	水生環境有害性(急性)	: 区分1
	水生環境有害性(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報

- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・眠気またはめまいのおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【応急措置】

- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：メチル＝2－(4, 6－ジメトキシピリミジン－2－イルオキシ)－6－(1－メトキシイミノエチル)ベンゾエート
 ／一般名：ピリミノバックメチル
 2－[8－クロロ－3, 4－ジヒドロ－4－(4－メトキシフェニル)－3－オキソキノキサリン－2－イルカルボニル]
 シクロヘキサノン－1, 3－ジオン／一般名：フェンキノトリオン(KUH-110)
 1－(3－クロロ－4, 5, 6, 7－テトラヒドロピラゾロ[1, 5－a]ピリジン－2－イル)－5－[メチル(プロパー
 2－イニル)アミノ]ピラゾール－4－カルボニトリル／一般名：ピラクロニル

成分及び含有量：	ピリミノバックメチル	1.4%
	フェンキノトリオン(KUH-110)	5.6%
	ピラクロニル	3.7%
<その他>	水、界面活性剤等	89.3%

化学式： C₁₇H₁₉N₃O₆／ピリミノバックメチル
 C₂₂H₁₇ClN₂O₅／フェンキノトリオン(KUH-110)
 C₁₅H₁₅ClN₆／ピラクロニル

官報公示整理番号：安衛法	8-(2)-1700, 1701	ピリミノバックメチル
	8-(2)-2388	フェンキノトリオン
	8-(1)-3328	ピラクロニル

CAS No.: 136191-64-5 ／ピリミノバックメチル
 1342891-70-6 ／フェンキノトリオン(KUH-110)
 158353-15-2 ／ピラクロニル

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。
 皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服を緩めて深呼吸をさせる。汚染された衣類や保護具を取り除く。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消化のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：作業の際には保護具(8. 暴露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、飛沫を口に入れたり吸入したりしないようにする。

環境影響に対する注意：流出した製品が河川に影響を及ぼさないよう注意する。

流出物の処理に対する注意：乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：秤量等の取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに飛沫を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. 暴露防止措置

設備対策：取り扱いについては、局所排気装置を併用する。有害物が環境中に放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具：防塵マスク、ゴム手袋、保護メガネ、作業着、帽子等

9. 物理・化学的性質

外観等	：	類白色水和性粘稠懸濁液体
臭い	：	データなし
pH	(10倍希釈液)	： 5.0(原液)
融点・凝固点	：	データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	：	データなし
引火点	：	データなし
発火点	：	データなし
燃焼性	：	データなし
燃焼又は爆発範囲	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
蒸気密度	：	データなし
蒸発速度	：	データなし
密度・比重	：	1.07
溶解度	：	データなし
オクタノール／水分配係数	：	データなし
分解温度	：	データなし
粘度	：	314mPa・s

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の保管環境下で安定

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分外	LD50 : >2000 mg/kg(ラット)
急性毒性(経皮)	: 区分外	LD50 : >2000 mg/kg(ラット)
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし	
急性毒性(吸入:粉じん)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外	軽度の刺激性があるが区分に満たない(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 区分外	軽度の刺激性があるが区分に満たない(ウサギ)
呼吸感受性	: データなし	
皮膚感受性	: 区分1B	陽性率 : 15%(モルモット)
生殖細胞変異原性	: 分類される物質を含まないため区分外。	
発がん性	: 分類される物質を含まないため区分外。	
生殖毒性	: 分類される物質を含まないため区分外。	
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: ピリミノバックメチルとして、区分3	
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: データなし	
吸引性呼吸器有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

水生生物に対する影響

以下の知見から、混合物として水生環境有害性(急性、慢性)は区分1とした。

生態毒性 魚	コイ	: 96時間LC50	502 mg/l
甲殻類	オオミジンコ	: 48時間EC50	262 mg/l
藻類	緑藻類	: 72時間ErC50	0.0750 mg/l
残留性/分解性		: データなし	
生体蓄積性		: データなし	
土壤中の移動性		: データなし	
その他		: 除草剤であり、植物に影響がある。	

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

14. 輸送上の注意

移送前に、容器の破損、腐食、漏れが無いことを確認する。移送取り扱いは大変に行う。

国連分類	: クラス9(有害性物質)
国連番号	: 3082(環境有害物質、液体)

15. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 24154号
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第一種指定物質 435号 ピリミノバックメチル
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。上記注意事項については通常想定される取扱いを対象としたものであり、特別な扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

引用文献 1) JIS Z 7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法

- 2) GHS対応ガイドライン 製品安全性データシートの作成指針(改訂2版)
平成20年10月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第15版 平成26年4月 農薬工業会

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。